

# 第6学年1組 音楽科学習指導案

日 時 平成27年11月26日(木) 第5校時  
在籍数 男子20名 女子15名  
指導者 教諭 駒崎玲子

1 題材名 日本と世界の音楽に親しもう

2 題材について

(1) 児童の実態

## (2) 題材について

本題材は、我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取ったり、そのよさを味わったりしながら、それぞれの音楽に親しむことができる。

そこでまず、我が国には長い歴史の中で風土や民族性に合うように改良され、形づくられてきた音楽文化があることに気付かせ、興味・関心をもちながら、その特徴を感じ取ったり、その美しさを味わったりできるようにする。

児童に親しませたい我が国の伝統音楽（雅楽）の特徴として、①独特な日本音階 ②音と音との間やリズム ③和楽器の音色や響き ④独特な音の流れが考えられる。

この4点を、学習活動のポイントとして、「越天楽今様」では、日本音階のゆったりとしたリズムを味わいながら歌うために、雅楽「越天楽」の鑑賞と関連付けて学習を展開していく。

また、諸外国にも、それぞれの国独特の文化があり、我が国とは違う音楽文化があることに気付かせ、我が国の伝統音楽と比較しながら、それぞれの国の音楽のよさを感じ取る力を育成していきたい。

## (3) 学習指導要領との関連について

本題材では、我が国の伝統や文化への理解を深め、諸外国の文化への興味・関心をもたせるため、学習指導要領のA表現(1)歌唱イ、ウ、B鑑賞(1)ア、ウを指導するものとする。

## 3 題材の目標

- (1) 我が国の伝統音楽や世界の音楽に関心を持ち、音楽の特徴を理解し、楽しんで聴いたり、歌ったりする学習に進んで取り組もうとする。
- (2) 旋律、音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想にふさわしい歌唱表現を工夫する。
- (3) 日本に古くから伝わる旋律に合う歌い方をするために必要な呼吸や発音の仕方などの技能を身に付けて演奏する。
- (4) 旋律、楽器の音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、それぞれの楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴く。

## 4 教材について

### (1) 越天楽今様 慈鎮和尚 作歌 日本古謡

「越天楽」の旋律に歌詞を付けたもので、今に残る日本の最も古い歌謡とされている。

児童には、この曲から日本の伝統的な音階による簡潔で優雅な旋律や、ゆったりとした速度が醸し出す曲想を感じ取り、それを生かして表現することで、我が国の伝統音楽の雰囲気味わわせたいと考え、選曲した。

### (2) 鑑賞「越天楽」

雅楽の中で最も広く知られており、もとは唐から伝えられた曲である。これに、日本古来の音楽が結びつき、宮中や神社、寺院の楽人たちにより、今日まで伝えられている。雅楽には舞の付く舞楽と舞のない管絃があり、ここで扱う「越天楽」は管絃の代表的な曲である。

ここでは、日本の伝統的な音階による旋律やゆったりとした歌い方などを感じ取らせ、美しい情景を想像しながら、日本古来の音楽の雰囲気を味わわせたいと考え、選曲した。

### (3) 楽器による世界のいろいろな国の音楽

5年生で学習した世界の国々の音楽のよさを味わう活動を発展させ、楽器の音色を味わうことに焦点を当てて、学習を進めることができる。

諸外国に伝わる楽器の演奏を鑑賞することで、身近ではなかなか見ることのできない珍

しい楽器に関心をもち、和楽器との相違点に気付いて、楽器の音色に親しんだり、それぞれのよさを感じ取らせたいと考え、選曲した。

## 5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連及び具体的な学習活動

指導事項	歌唱イ・・・ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 歌唱ウ・・・ 呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。 鑑賞ア・・・ 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。 鑑賞ウ・・・ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。		
〔共通事項〕ア	旋律 速度 拍の流れ	リズム	音色
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「越天楽今様」と雅楽「越天楽」の旋律が同じことに気付く。</li> <li>・雅楽の楽器の音色、速度、旋律などを感じ取って聴く。</li> <li>・言葉のまとまりや語感の働きに合う歌い方を工夫する。</li> <li>・それぞれの国の音楽の特徴や演奏のよさを感じ取って聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「越天楽今様」をゆったりとした速度やリズムで歌う。</li> <li>・日本に古くから伝わるリズムを生かして歌う。</li> <li>・「ずれ」「間」に気付いて、表現に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雅楽の楽器の音色の特徴を感じ取って聴く。</li> <li>・諸外国の音楽を聴き、楽器の音色の特徴や音楽の雰囲気の違いを感じ取る。</li> </ul>

## 6 題材の評価規準

	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
題材の評価規準	①「越天楽今様」の曲想を感じ取りながら歌ったり、雅楽「越天楽」の雰囲気を感じ取って聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。 ②世界の国々の音楽に関心をもち、それぞれの音楽の特徴を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。	①旋律、楽器の音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、雅楽らしい響きを求めて音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	①日本に古くから伝わる旋律に合う歌い方をするために言葉のまとまりや語感、呼吸や発音の仕方に気を付けて、演奏している。	①旋律、雅楽の楽器の音色、リズム、速度の特徴を聴き取り、楽曲全体にわたる曲想を感じ取って聴いている。 ②旋律、楽器の音色、リズム、速度の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す音楽の雰囲気の違いや想像したことを言葉で表すなどして、世界の国々の音楽の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。
1時	①			
2時		①		①
3時		①	①	
4時	②			②
5時	②			②

7 指導と評価の計画（全5時間）

時	◆ねらい○学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
1	<p>◆日本に古くから伝わる音楽について知り、歌ったり聴いたりする。</p> <p>○「越天楽今様」を歌う。 ・ 楽曲分析をし、楽譜に記入する。  ・ 歌詞の意味を理解する。  ・ 範唱に合わせて歌う。</p> <p>○雅楽「越天楽」について知る。 ・ 雅楽の歴史について知る。  ・ 楽器の特徴をつかむ。</p>	<p>○楽譜からわかる内容を確認しながら、拡大楽譜に記入し、共通理解できるようにする。 ○歌詞が表す美しい情景を思い浮かべられるように、掲示資料を提示する。 ○独特の雰囲気に関心し、五音で構成されていることを確認できるようにする。 ☆「越天楽今様」の曲想を感じ取りながら歌ったり、雅楽「越天楽」の雰囲気を感じ取って聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。（関① 表情観察・演奏聴取）</p> <p>○掲示資料を生かし、雅楽に興味・関心がもてるようにする。 ○視聴覚機器を使用し、音色や演奏方法について知ることができるようにする。</p>
2  本 時  ※ 公 開	<p>◆雅楽の特徴や楽器の音色から日本の音楽の独特な雰囲気を感じ取って聴き、表現に生かすようにする。</p> <p>○雅楽「越天楽」を鑑賞する。 ・ 雅楽の楽器の音色、速度、旋律などを感じ取って聴く。 ・ 聴き取った内容を確認する。  ・ 再度鑑賞し、楽曲の特徴を確認する。</p> <p>○「越天楽今様」をどのように表現するか思いをもつ。 ・ どのように表現したらよいか考える。  ・ 意見交流をする。</p>	<p>○鑑賞のポイントを示した学習カードに記入させ、独特の雰囲気を感じ取るようにする。 ○発表したことを板書にまとめ、雅楽「越天楽」の特徴が確認できるようにする。 ○「ずれ」「間」についても確認できるようにする。 ☆旋律、雅楽の楽器の音色、リズム、速度の特徴を聴き取り、楽曲全体にわたる曲想を感じ取って聴いている。 （鑑① 表情観察・発言内容・記述内容）</p> <p>○雅楽「越天楽」の特徴を生かして表現する方法を考えさせ、学習カードに記入できるようにする。 ○拡大楽譜を見ながら、確認させる。 ○「ずれ」「間」など独特の雰囲気をもつように表現するか話し合う。 ○実際に声や音で確認できるようにする。 ☆旋律、楽器の音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、雅楽らしい響きを求めて音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 （創① 発言内容・記述内容）</p>

<p>3</p>	<p>◆雅楽の雰囲気や全体の響きを味わいながら演奏できるようにする。</p> <p>○「越天楽今様」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の表す情景を思い浮かべて、発音や発声に気を付けて歌う。</li> <li>・言葉のまとまりや語感、リズムや旋律の動きに合う歌い方を工夫する。</li> </ul> <p>・演奏を聴き合う。</p> <p>・日本古来の歌い方を意識して、自分たちなりの歌い方で演奏する。</p>	<p>○前時に確認した内容を試すようにする。</p> <p>○音楽の雰囲気や雅楽らしい感じを表現できるように、呼吸や発音の仕方、速度などを工夫して歌うようにする。</p> <p>○笙の和音のイメージをもちながら、代用楽器で演奏してもよいこととする。</p> <p>☆旋律、楽器の音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、雅楽らしい響きを求めて音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>（創① 発言内容・記述内容）</p> <p>○聴き合いのポイントを基に意見交流をするようにする。</p> <p>○雅楽「越天楽」の雰囲気を思い起こし、歌い方を確かめ合って歌うようにする。</p> <p>☆日本に古くから伝わる旋律に合う歌い方をするために、言葉のまとまりや語感、呼吸や発音の仕方に気を付けて、演奏している。</p> <p>（技① 表情観察・演奏内容）</p>
<p>4</p>	<p>◆世界の国の音楽について、楽器の響きの特徴を感じ取りながら聴くようにする。</p> <p>○世界の国々の音楽を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸外国に伝わる楽器について話し合う。</li> </ul> <p>○世界の国々の音楽を聴き、楽器の音色の特徴や雰囲気の違いを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の音色の特徴や雰囲気の違いなどに気を付けて、繰り返し音楽を聴く。</li> <li>・それぞれの国の音楽を聴き、楽器の音色の特徴や音楽の雰囲気など、気付いたことや感じたことを学習カードに記入する。</li> </ul>	<p>○教科書や掲示資料などを参考にして、話し合うようにする。</p> <p>☆世界の国々の音楽に関心をもち、それぞれの音楽の特徴を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>（関② 表情観察・発言内容）</p> <p>○和楽器との共通点や相違点について気付けるようにする。</p> <p>○〔共通事項〕を基本とした学習カードに記入させる。</p> <p>☆旋律、楽器の音色、リズム、速度の特徴を聴き取り、それらの動きが生み出す音楽の雰囲気の違いや想像したことを言葉で表すなどして、世界の国々の音楽の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。</p> <p>（鑑② 表情観察・発言内容・記述内容）</p>

5	◆世界の国々の音楽の特徴や演奏のよさを味わって聴くようにする。	
	<p>○それぞれの国の音楽の特徴や演奏のよさを感じ取って聴く。</p> <p>・それぞれの国の音楽の特徴や演奏のよさについて話し合う。</p>	<p>○ペア、グループなどで意見交流をし、全体で話し合うようにする。</p> <p>☆旋律、楽器の音色、リズム、速度の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す音楽の雰囲気の違いや想像したことを言葉で表すなどして、世界の国々の音楽の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。</p> <p>(関② 表情観察・発言内容)</p>
	<p>○世界の国々音楽について紹介する。</p> <p>・特徴をどのように伝えるか、グループに分かれて話し合う。</p> <p>・紹介する方法を考える。</p> <p>・世界の国々音楽を聴きながら、発表する。</p>	<p>○楽器の演奏方法、音色、リズムなど、特徴を捉えてまとめられるようにする。</p> <p>○和楽器と諸外国に伝わる楽器を比較することにより、特徴を捉えられるようにする。</p> <p>○表にまとめる、地図に書き込む、実際に演奏する等、様々な表現方法を提示する。</p> <p>○発表を聞き、特徴や演奏のよさを味わうようにする。</p> <p>☆楽器、音色の特徴や音楽の雰囲気の違いから想像したことなどを言葉で表すなどして世界の国々の音楽の特徴や演奏のよさを理解したりして、味わって聴いている。</p> <p>(鑑② 表情観察・発表内容)</p>

## 8 学習指導について

### (1) 本時の目標

雅楽の特徴や楽器の音色から我が国の伝統音楽の独特な雰囲気を感じ取って聴き、表現に生かすようにする。

### (2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<p>○「声づくり」で挨拶</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>・「越天楽今様」について確認する。</p> <p>・既習を想起し、「越天楽今様」を歌う。</p> <p>・雅楽の歴史、楽器の特徴について確認する。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>○口形に気を付けるように声掛けをしながら、児童の様子を把握するようにする。</p> <p>○拡大楽譜、掲示資料を使用し既習内容を確認できるようにする。</p> <p>○前時に学習した、楽譜通りの歌い方で表現するように声掛けをする。</p> <p>○情景を表す資料を提示するようにする。</p> <p>○雅楽の楽器の掲示資料を提示するようにする。</p>
<p>雅楽「越天楽」の特徴を感じ取り、自分たちの「越天楽今様」の歌い方に生かしてみよう。</p>	

<p>○雅楽「越天楽」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことについて意見交流をする。</li> <li>・雅楽「越天楽」を再度鑑賞する。</li> <li>・気付いたこと、感じたことを発表する。</li> <li>・雅楽「越天楽」の特徴を感じ取りながら鑑賞する。</li> </ul> <p>○「越天楽今様」をどのように表現したらよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の雰囲気を表す方法を考える。</li> <li>・全体で意見交流をする。</li> <li>・表現方法をまとめる。</li> </ul> <p>○次時の課題を決定する。</p>	<p>○初発の印象を短い言葉で表現させるようにする。</p> <p>○感じたことについて意見交流し、気づきを広げられるようにする。</p> <p>○前時の学習内容との比較を手掛かりに鑑賞できるようにする。</p> <p>○鑑賞カードに記入するようにする。</p> <p>☆旋律、雅楽の楽器の音色、リズム、速度の特徴を聴き取り、楽曲全体にわたる曲想を感じ取って聴いている。</p> <p>（鑑①表情観察、発言内容、記述内容）</p> <p>○個々の意見を認め、共感しながら発表できるようにする。</p> <p>○板書の内容をもとに意見交流ができるようにする。</p> <p>○鑑賞のポイントを確認してから鑑賞するようにする。</p> <p>○個人、ペア、小グループなどで表現方法を考え、教科書に書き込む。</p> <p>○雅楽「越天楽」をBGMとして流しておく。</p> <p>○「越天楽今様」の拡大楽譜と雅楽「越天楽」のまとめが比較できるようにする。</p> <p>○速度、ずれ、間など、ポイントを絞って話し合うようにする。</p> <p>○実際に声や音で確認できるようにする。</p> <p>☆旋律、楽器の音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、雅楽らしい響きを求めて音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>（創①発言内容、記述内容）</p> <p>○本時のまとめから次時の課題を決定できるようにする。</p>
--	--

<p>「十分満足できる」(A) と判断される状況</p> <p>○鑑賞した楽曲から感じ取った特徴のある楽器の音色や演奏の仕方について、その役割などや楽曲の構造に触れ、旋律と伴奏の関わりに気付いて発言している。</p> <p>○主な旋律の音の動きや音と音の「間」やリズムの面白さを感じ取り、表現の仕方を工夫しながら、他の児童と関わりをもっている。</p> <p>「努力を要する」(C) と判断される状況への働きかけ</p> <p>○映像や音で確認しながら、楽器の特徴を感じ取って聴くように助言し、既習の楽器を手掛かりとして聴くようにする。</p> <p>○「間」やリズムの特徴（鑑賞のポイント）を確認しながら鑑賞させ、「越天楽今様」の楽譜に思いを記入できるようにする。</p>
---

(3) 板書計画

雅楽「越天楽」の特徴を感じ取り、自分たちの「越天楽今様」の歌い方に活かしてみよう。

「越天楽今様」

拡大楽譜  
(前時の学習記録)

雅楽「越天楽」 (鑑賞カードの拡大版)

旋律	速度	強弱	リズム	楽器・音色	イメージ

雅楽「越天楽」の特徴  
「ずれ」「間」「速度」

「越天楽今様」の特徴

- ①
- ② 児童の意見をまとめる
- ③

表現方法

- 速度 . . . . .
- リズム . . . . . 児童の意見をまとめる
- 発音・発声 . . . . .
- 伴奏楽器 . . . . .